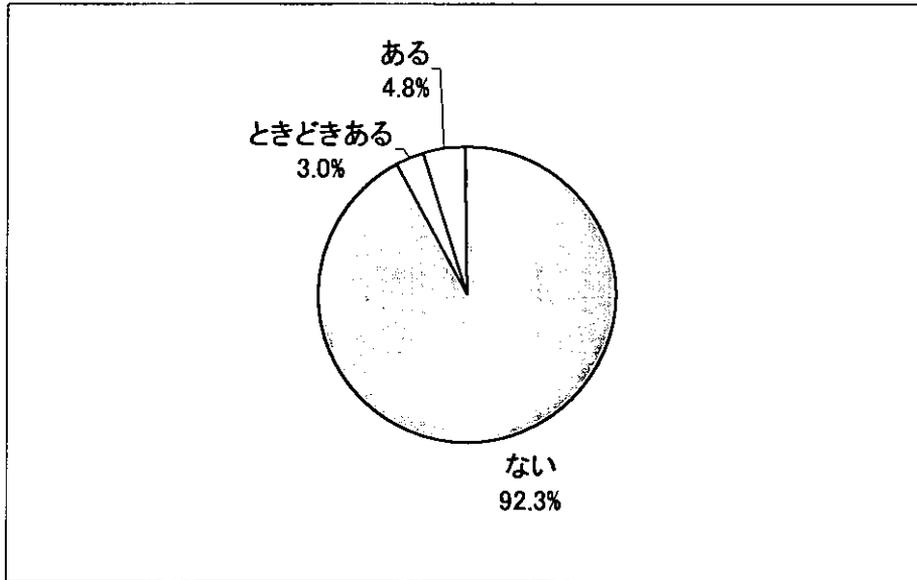


⑪ 落ち着きなし

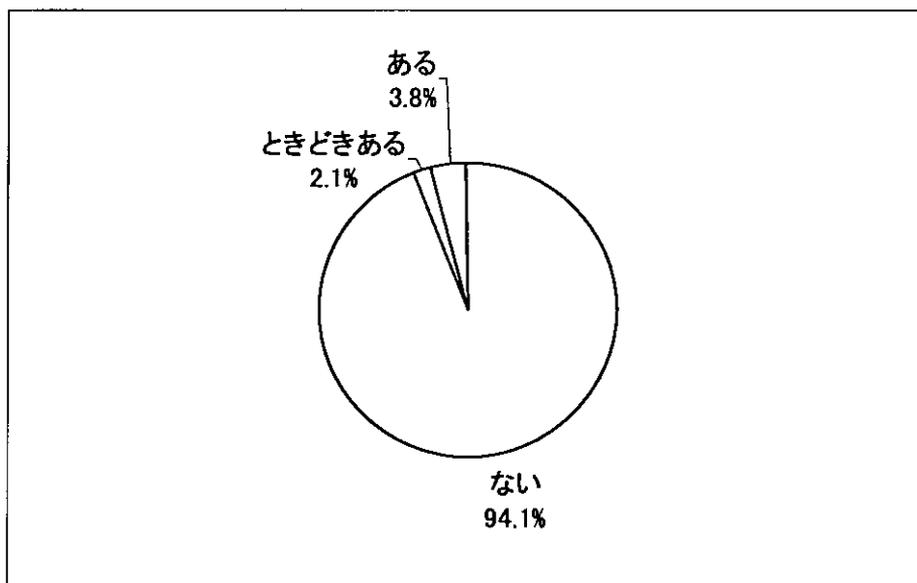
落ち着きなしについては、「全くない」は28,485名 (92.3%)、「ときどきある」は911名 (3.0%) 「よくある」は1,474名 (4.8%) であった。



図Ⅲ・3・56 落ち着きなし (N=30,870)

⑫ 野外への徘徊

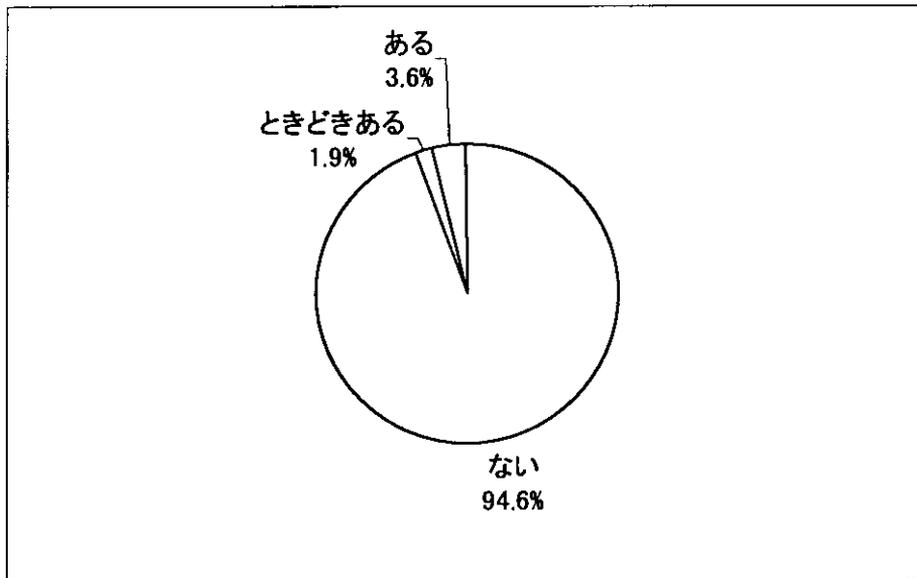
野外への徘徊については、「全くない」は29,035名 (94.1%)、「ときどきある」は660名 (2.1%) 「よくある」は1,175名 (3.8%) であった。



図Ⅲ・3・57 野外への徘徊 (N=30,870)

⑬要監視

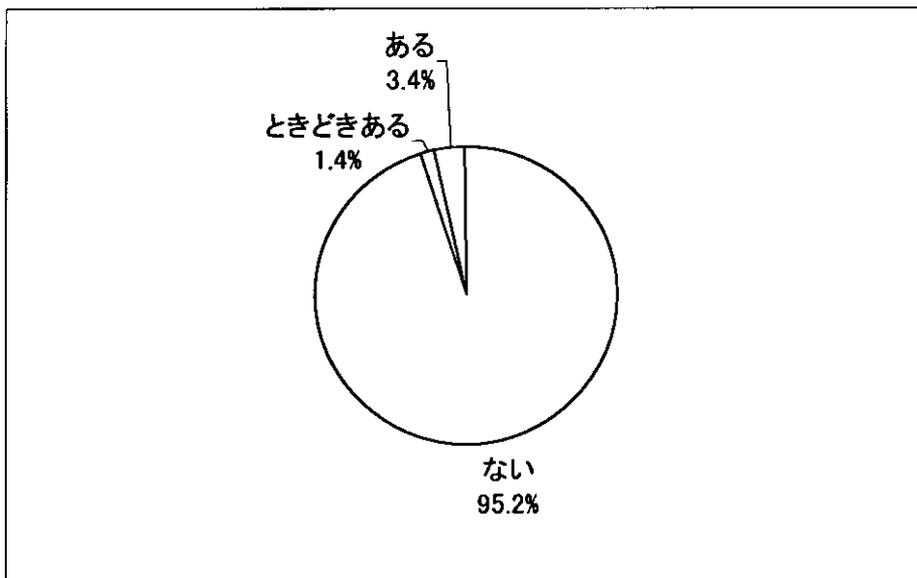
要監視については、「全くない」は29,195名 (94.6%)、「ときどきある」は575名 (1.9%)  
「よくある」は1100名 (3.6%) であった。



図Ⅲ・3-58 要監視 (N=30,870)

⑭収集癖

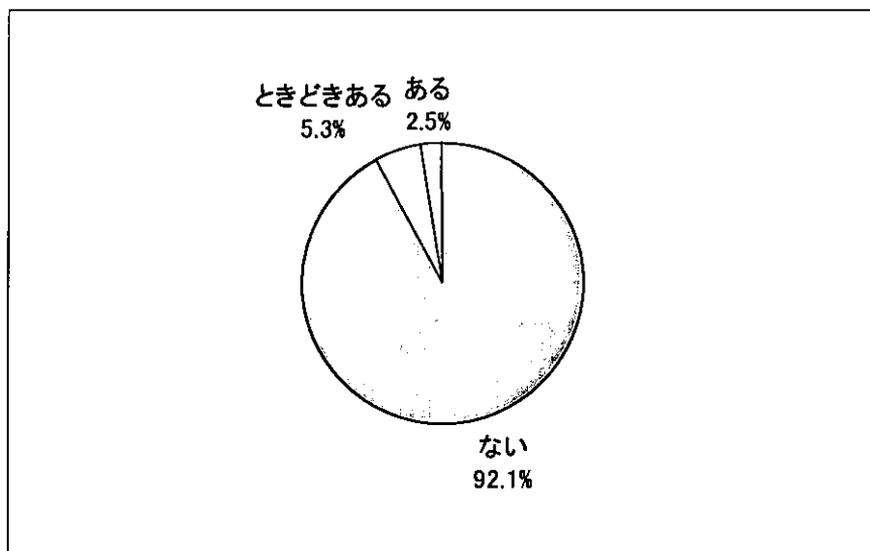
収集癖については、「全くない」は29,375名 (95.2%)、「ときどきある」は443名 (1.4%)  
「よくある」は1,052名 (3.4%) であった。



図Ⅲ・3-59 収集癖 (N=30,870)

⑮火の不始末

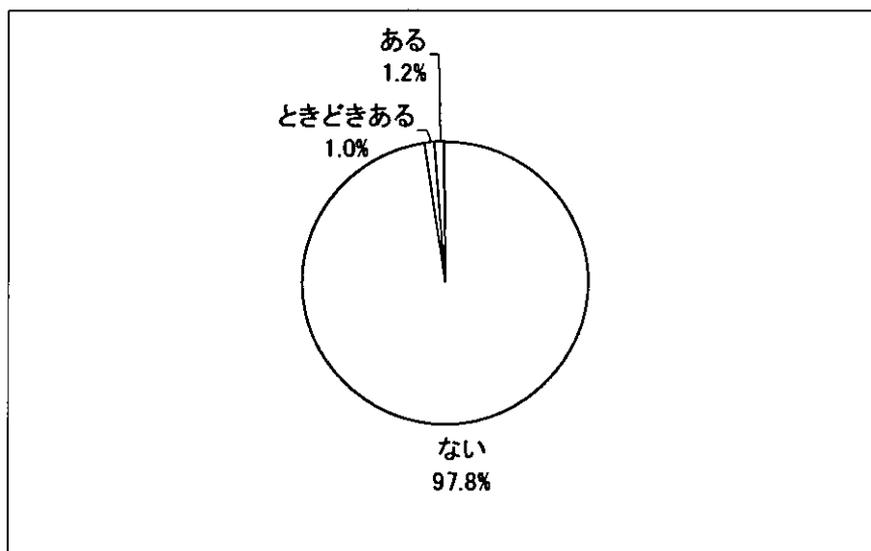
火の不始末については、「全くない」は28,439名（92.1%）、「ときどきある」は1,644名（5.3%）「よくある」は787名（2.5%）であった。



図Ⅲ-3-60 火の不始末 (N=30,870)

⑯物や衣類を壊す

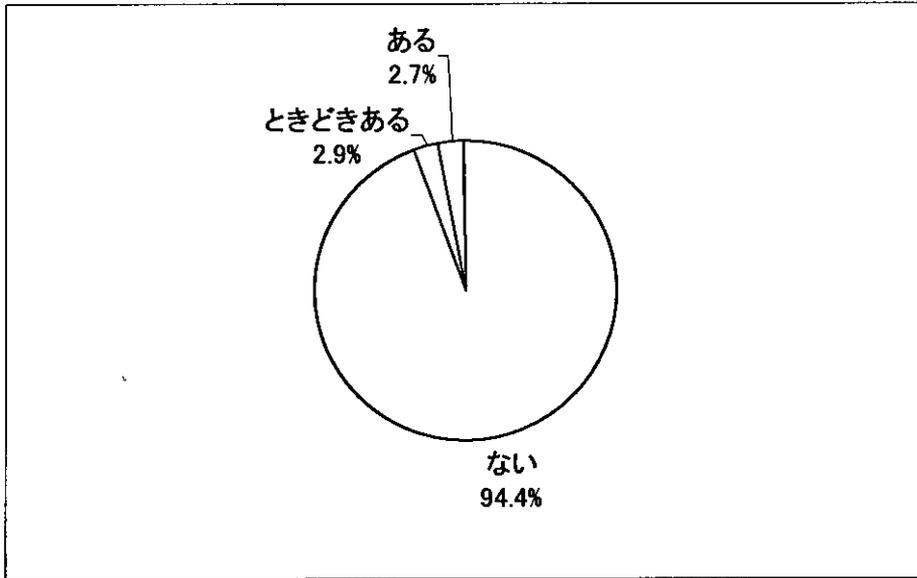
物や衣類を壊すについては、「全くない」は30,199名（97.8%）、「ときどきある」は313名（1.0%）「よくある」は358名（1.2%）であった。



図Ⅲ-3-61 物や衣類を壊す (N=30,870)

⑰不潔行為

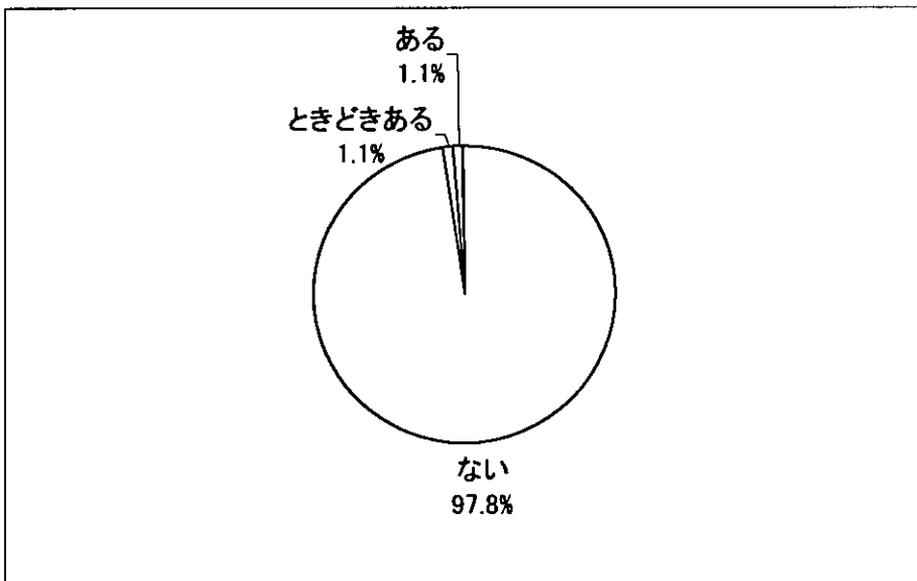
不潔行為については、「全くない」は29,138名 (94.4%)、「ときどきある」は901名 (2.9%)  
「よくある」は831名 (2.7%) であった。



図Ⅲ-3-62 不潔行為 (N=30,870)

⑱異食行動

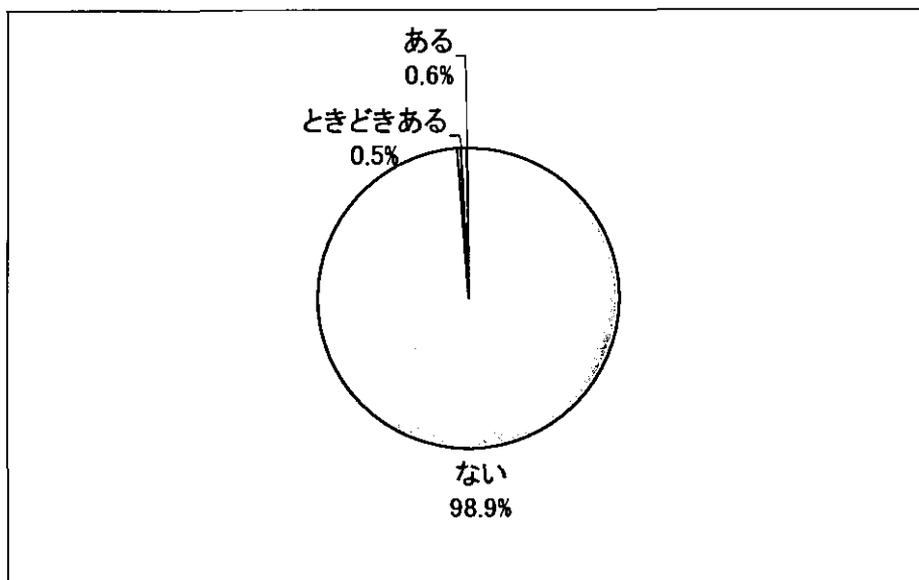
異食行動については、「全くない」は30,180名 (97.8%)、「ときどきある」は344名 (1.1%)  
「よくある」は346名 (1.1%) であった。



図Ⅲ-3-63 異食行為 (N=30,870)

⑬ 周囲への迷惑行為

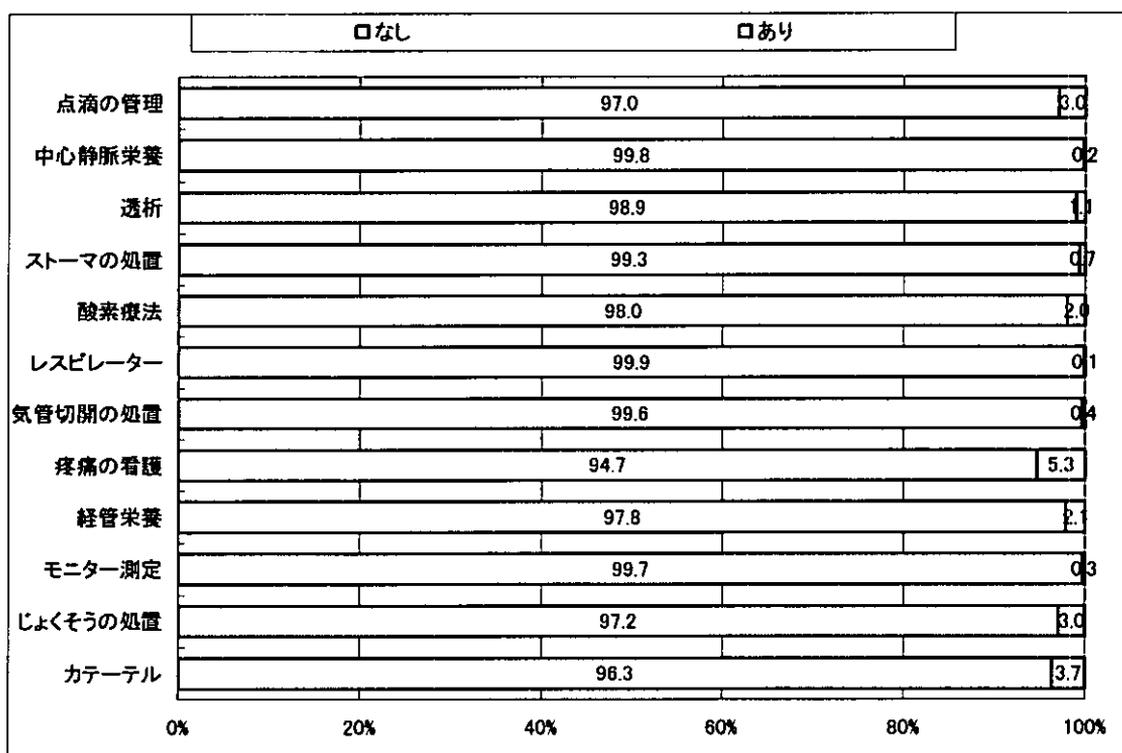
周囲への迷惑行為については、「全くない」は30,538名 (98.9%)、「ときどきある」は144名 (0.5%) 「よくある」は188名 (0.6%) であった。



図Ⅲ・3・64 周囲への迷惑行為 (N=30,870)

(7) 過去14日間に受けた医療について

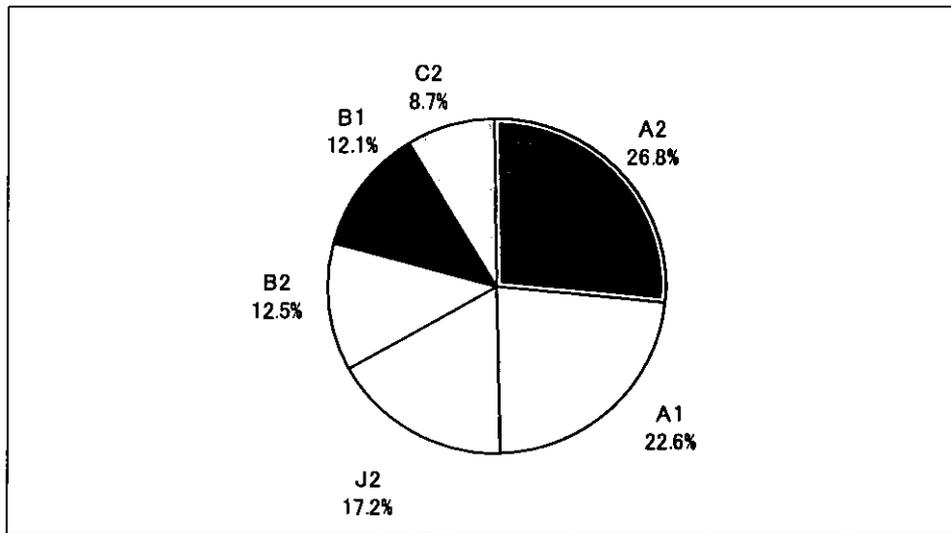
過去14日間に受けた医療について行われたのは、「点滴の管理」が、916名(3.0%)、「中心静脈栄養」が、75名(0.2%)、「透析」が、325名(1.1%)、「ストーマの処置」が、209名(0.7%)、「酸素療法」が、611名(2.0%)、「レスピレーター」が、25名(0.1%)、「気管切開の処置」が、122名(0.4%)、「疼痛の看護」が、1644名(5.3%)、「経管栄養」が、686名(2.2%)、「モニター測定」が、92名(0.3%)、「じょくそうの処置」が、871名(3.0%)、「カテーテル」が、1133名(3.7%)であった。



図Ⅲ-3-65 過去14日間に受けた医療について (N=30,870)

(8) 障害老人の日常生活自立度（寝たきり度）について

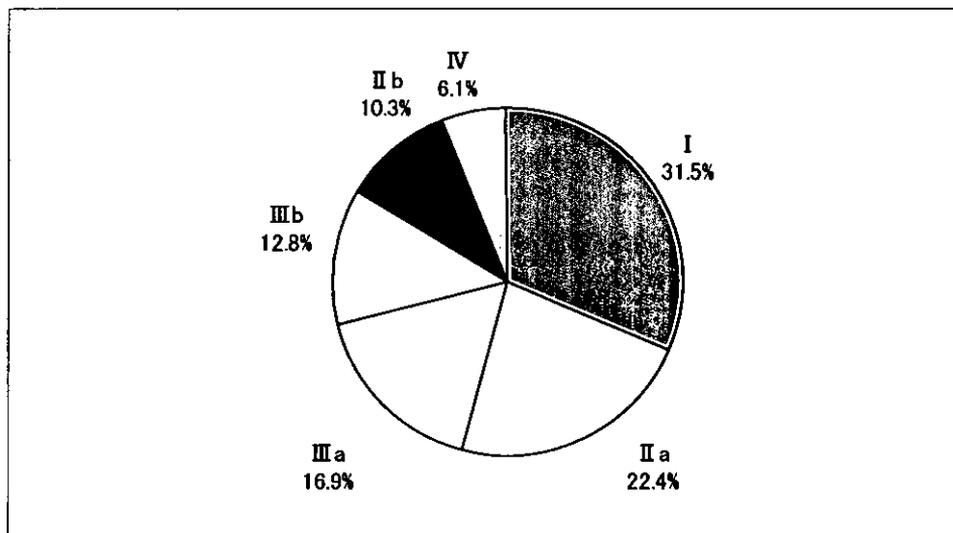
障害老人の日常生活自立度（寝たきり度）について、「A2」は7,626名（26.8%）、「A1」は6,451名（22.6%）、「J2」は4,905名（17.2%）、「B2」は3,561名（12.5%）、「B1」は3,447名（12.1%）、「C2」は2,492名（8.7%）であった。



図Ⅲ-3-66 障害老人の日常生活自立度（寝たきり度）（N=28,482）

(9) 痴呆性老人の日常生活自立度について

痴呆性老人の日常生活自立度について、「Ⅰ」は9,195名（31.5%）、「Ⅱa」は6,536名（22.4%）、「Ⅲa」は4,938名（16.9%）、「Ⅲb」は3,746名（12.8%）、「Ⅱb」は3,018名（10.3%）、「Ⅳ」は1,783名（6.1%）であった。



図Ⅲ-3-67 痴呆性老人の日常生活自立度（N=29,216）

なお、(8)、(9)で示した障害老人の日常生活自立度(寝たきり度)、痴呆性老人の日常生活自立度の判定基準は、厚生省老人保健福祉部長通知(平成3年老健102-2号)によって示された基準で介護保険制度の要介護認定実施前は、要介護高齢者等の実態把握等に活用されていた。詳しい評価の基準は、以下に示したとおりである。

寝たきりの状況 ー障害老人の日常生活自立度(寝たきり度)判定基準によるー

ランク J... 何らかの障害は有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する

ランク A... 屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない

ランク B... 屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッドの上での生活が主体であるが座位を保つ

ランク C... 1日中ベッドの上で過ごし、排泄、食事、着替えにおいて介助を要する

寝たきり者... ランク Bとランク Cを合わせた者

痴呆の状況 ー痴呆性老人の日常生活自立度判定基準によるー

ランク I... 何らかの痴呆を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している

ランク II... 日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる

ラ ン ク III... 日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする

ランク IV... 日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする

ランク M... 著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする

4.介護保険サービスの利用に関する分析

(1) データの概要

平成12年4月から平成15年3月までの36か月分の要介護認定基本調査項目の調査結果から、各サービス別に要介護度別、性別、年齢階層別にサービスの利用回数について、集計（要介護別、利用回数の最大値、最小値、平均、中央値、第一四分位点：データを小さい順に整序して先頭から1/4の順位のデータの値、第三四分位点：データを小さい順に整序して先頭から3/4の順位のデータの値）を行った。（別添資料編1参照）

以下の表に示したように、保険点数は増加していた（なお、特定施設、入所者生活介護、特定福祉用具購入、住宅改修サービスについては、データに含まれていない。）

表Ⅲ-4-1 サービスデータ 月毎の集計

年 月	元データ		有効認定者分*		有効認定分#	
	レコード数	保険点数	保険点数	%	保険点数	%
2000 4	7965	48242355	47996528	1.00	42445056	0.88
2000 5	8015	50836720	50497185	0.99	45473040	0.89
2000 6	7927	49400843	49029158	0.99	45857408	0.93
2000 7	8209	52411643	52082819	0.99	48030138	0.92
2000 8	8254	53392980	53048434	0.99	49190958	0.92
2000 9	8531	52528425	52271017	1.00	47861818	0.91
2000 10	8652	54045647	53815940	1.00	49117241	0.91
2000 11	8789	51088333	50873034	1.00	47875327	0.94
2000 12	8805	53185587	52969126	1.00	49602585	0.93
2001 1	8780	52168692	51895920	1.00	48422615	0.93
2001 2	8892	50640798	50399480	1.00	46912717	0.93
2001 3	9169	56091743	55854862	1.00	52175812	0.93
2001 4	9664	56000221	55725092	1.00	52139125	0.93
2001 5	9993	58952406	58612914	0.99	54933100	0.93
2001 6	10045	59065921	58800381	1.00	54864307	0.93
2001 7	10186	60764683	60577959	1.00	56776709	0.93
2001 8	10297	61476123	61307270	1.00	57460138	0.94
2001 9	10534	59363538	59245394	1.00	55511383	0.94
2001 10	10820	63674150	63547420	1.00	59679288	0.94
2001 11	11058	61548632	61455621	1.00	57608570	0.94
2001 12	11143	62133092	62038608	1.00	57849764	0.93
2002 1	11173	62291678	62196393	1.00	57529917	0.92
2002 2	11312	60914737	60820064	1.00	56030309	0.92
2002 3	11524	66199947	66074323	1.00	62024913	0.94
2002 4	12066	68403804	68280181	1.00	63697181	0.93
2002 5	12198	70816543	70663287	1.00	66483568	0.94
2002 6	12354	69882402	69733760	1.00	65573974	0.94
2002 7	12653	74078280	73866288	1.00	69779834	0.94
2002 8	12653	74081567	73887916	1.00	69653740	0.94
2002 9	12981	72953478	72710887	1.00	68279441	0.94
2002 10	13385	77489013	77152611	1.00	72606123	0.94
2002 11	13432	74507369	74064866	0.99	69483956	0.93
2002 12	13510	75520657	75029375	0.99	70785594	0.94
2003 1	13275	73674228	73131377	0.99	69281639	0.94
2003 2	13202	70712580	70124241	0.99	66095622	0.94
2003 3	12982	75433003	74588803	0.99	71600942	0.95
合計	384428	2233971818	2224368534	1.00	2078693852	0.93

\* 有効認定を一度でも受けたもののサービス利用

# 有効認定状態でのサービス利用(無資格/資格喪失月の利用などを除いた)

% は H1レコードの単純集計に対する比率

(2) 介護サービスの利用者

介護サービスを利用していた高齢者は、235,531人月[月平均6,542.5人]であった。

表Ⅲ-4-2 認定状態の延べ分布(人月)

	自立	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	死去	その他	転出	合計
2001年3月まで	1016	6279	11596	11955	8572	7323	6125	5000	136	365	119328
2002年3月まで	2037	13664	26852	26309	18411	15117	13005	18859	402	1544	238656
2003年3月まで	3043	23140	46492	42759	29131	23632	20389	42418	872	3655	235531

このうち、2003年3月までの期間中に有効な認定を受けたことのあるものは、9,661人であった。

表Ⅲ-4-3 対象集団(9,944人)の36ヶ月の認定状態

	要介護度なし		要介護度あり		合計	
	人月	(%)	人月	(%)	人月	(%)
要支援でもない	172441	(48.2)	0	(0)	172441	(48.2)
要支援以上	23140	(6.5)	162403	(45.4)	185543	(51.8)
合計	195581	(54.6)	162403	(45.4)	357984	(100)

(3) 施設サービスの利用者の概要

入退所記録から入所人数を把握した。表Ⅲ-4-4 に示したように、入所人数は増えていっているが、有効認定数が増加しているため、入所割合は微減していることがわかる。

表Ⅲ-4-4 経歴上の入所の人数

年	月	入所のべ日数	一日当り換算	有効認定数	入所割合(%)
2000	4	27546	918.2	3828	24.0
2000	5	29303	945.3	3957	23.9
2000	6	29641	988	4085	24.2
2000	7	31207	1006.7	4139	24.3
2000	8	31586	1018.9	4219	24.2
2000	9	30372	1012.4	4313	23.5
2000	10	31144	1004.6	4375	23.0
2000	11	30071	1002.4	4440	22.6
2000	12	31271	1008.7	4531	22.3
2001	1	31148	1004.8	4565	22.0
2001	2	28874	1031.2	4665	22.1
2001	3	31898	1029	4733	21.7
2001	4	31229	1041	4807	21.7
2001	5	32220	1039.4	4847	21.4
2001	6	31696	1056.5	4926	21.5
2001	7	33511	1081	4976	21.7
2001	8	33365	1076.3	5061	21.3
2001	9	32171	1072.4	5097	21.0
2001	10	32872	1060.4	5172	20.5
2001	11	31578	1052.6	5234	20.1
2001	12	33235	1072.1	5236	20.5
2002	1	32981	1063.9	5294	20.1
2002	2	31221	1115	5371	20.8
2002	3	35234	1136.6	5487	20.7
2002	4	35079	1169.3	5563	21.0
2002	5	36674	1183	5647	21.0
2002	6	36267	1208.9	5760	21.0
2002	7	38525	1242.7	5864	21.2
2002	8	38822	1252.3	5949	21.1
2002	9	38000	1266.7	6038	21.0
2002	10	39321	1268.4	6100	20.8
2002	11	37811	1260.4	6175	20.4
2002	12	39616	1277.9	6214	20.6
2003	1	39197	1264.4	6232	20.3
2003	2	35958	1284.2	6287	20.4
2003	3	39357	1269.6	6356	20.0

(4) 入所サービス利用者の要介護度

①入所経験と要介護認定経験

入所経験については、入所日数と外泊日数の合計が月の日数以上の月を完全入所月として、それが一月に満たない入所を短期と呼ぶことにして集計している。「短期のみ」とは短期入所のみが記録されていることを意味する。また、「一月以上」とは少なくともある一月に完全入所していた経験のあることをいう。また、常時入所というのは、要介護度1以上の認定を受けていた月数より、完全入所していた月数が多い、つまり、入所可能な月には入所していた場合をいう。なお、ここで要介護1以上の認定を得た"経験"がない者を分類上無資格といっている。ただし無資格ではないと分類されている場合でも、入所していた月に資格を持っていたとは限らない。(表Ⅲ-4-5)

表Ⅲ-4-5 個人ごとの有効資格をもった入所経験と要介護認定経験

	経験なし		要支援のみ		要介護も有		合計	
	N	%	N	%	N	%	N	%
経験なし	290*	2.9	961	9.7	6286	63.2	7537	75.8
短期のみ	0	0	0	0	243	2.4	243	2.4
一月以上	0	0	0	0	1634	16.4	1634	16.4
常時入所	0	0	0	0	510	5.1	510	5.1
無資格短期入所	3	0.0	15	0.2	0	0	18	0.2
無資格入所	2	0.0	0	0	0	0	2	0
合計	295	3.0	976	9.8	8673	87.2	9944	100

\* 当初から資格のなかった165人を含む

(5) 在宅サービス利用者の要介護度

①認定状態と在宅サービスの利用

要介護度別に在宅サービスを利用の有無を解析した結果、在宅サービス利用の割合を要介護度別に利用率として算出した結果、割合が高かったのは、要支援69.1%、要介護1の69.5%、要介護2の63.7%であった。

表Ⅲ-4-6 認定の状態と在宅サービスの利用

	なし		あり		合計		利用率
	人月	%	人月	%	人月	%	
要支援	7152	2.0	15988	4.5	23140	6.5	69.1
要介護1	14162	4.0	32330	9.0	46492	13.0	69.5
要介護2	15526	4.3	27233	7.6	42759	11.9	63.7
要介護3	12668	3.5	16463	4.6	29131	8.1	56.5
要介護4	13396	3.7	10236	2.9	23632	6.6	43.3
要介護5	11467	3.2	8922	2.5	20389	5.7	43.8
自立	3043	0.9	0	0	3043	0.9	0
死亡	42418	11.8	0	0	42418	11.8	0
その他	872	0.2	0	0	872	0.2	1.1
転出	3655	1.0	0	0	3655	1.0	0
未認定	121104	33.8	1349*	0.4	122453	34.2	0
合計	245463	68.6	112521	31.4	357984	100	31.4

\* 未認定でのサービス利用がのべ1349人月あった。

②入所経験と在宅サービスの利用

在宅サービスの利用者は、入所経験がない者は、在宅サービスを利用している割合は、73.3%、短期の入所の経験者は、79.8%、1ヶ月以上の入所経験がある者は、56.7%と示され、短期入所をした経験がある群の在宅サービスの利用割合は高かった。

表Ⅲ-4-7 入所経験と在宅サービス利用

		サービス利用		
		なし	あり	合計
入 所 経 験	経験なし	2016	5521	7537
	短期のみ	49	194	243
	一月以上	708	926	1634
	常時入所	433	77*	510
	無資格短期入所	4	14	18
	無資格入所	0	2	2
	合計	3210	6734	9944

\*完全入所の月の在宅サービス利用はのべ 3472 月あったが、うち、外泊のない月での利用は 246 件であった。

(6) 訪問系サービス利用回数の総利用回数

介護保険サービス利用回数に関して、平成12年4月から平成15年3月までの36か月分の要介護認定基本調査項目の調査結果から、各サービス別に要介護度別、性別、年齢階層別にサービスの利用回数について、集計（要介護別、利用回数の最大値、最小値、平均、中央値、第一四分位点：データを小さい順に整序して先頭から1/4の順位のデータの値、第三四分位点：データを小さい順に整序して先頭から3/4の順位のデータの値）を行った。

訪問系サービス利用回数の総利用回数は、826,953回であった。それらを要介護度別、性別、年齢階層別に集計した結果は、以下の通りであった。

要介護度別には、要介護1が最も高く、次いで要介護2、要介護3の順となっている。性別では、女性が男性の約2倍にのぼっている。年齢階層では、75・85歳が最も多く、次いで85歳から95歳と続いていた。

表Ⅲ-4-8 訪問系サービス利用回数の総利用回数（要介護度別）

回数	訪問系サービス				合計
	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	
要支援	69451	22	1452	5	70930
要介護1	177545	499	10459	244	188747
要介護2	157433	2250	15090	368	175141
要介護3	113455	4822	14549	237	133063
要介護4	93110	7705	16478	204	117497
要介護5	95255	15663	30214	443	141575
合計	706249	30961	88242	1501	826953

表Ⅲ-4-9 訪問系サービス利用回数の総利用回数（性別）

回数	訪問系サービス				合計
	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	
男	217095	11894	34804	1164	264957
女	489154	19067	53438	337	561996
合計	706249	30961	88242	1501	826953

表Ⅲ-4-10 訪問系サービス利用回数の総利用回数（年齢階層別）

回数	訪問系サービス				合計
	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	
65歳未満	42304	1965	4807	254	49330
65歳以上75歳未満	136574	5712	17677	706	160669
75歳以上85歳未満	307795	9392	33013	460	350660
85歳以上95歳未満	203158	11009	28618	81	242866
95歳以上	16418	2883	4127	0	23428
合計	706249	30961	88242	1501	826953

(7) 通所系サービス利用回数の総利用回数

通所系サービス利用回数の総利用回数は、1,868,455 回であった。それらを要介護度別、性別、年齢階層別に集計した結果は、以下の通りである。

要介護度別には、要介護 2 が最も高く、次いで要介護 1 の順となっていた。性別では、女性が男性の約 2.4 倍にのぼっていた。年齢階層では、75・85 歳が最も多く、次いで 85 歳から 95 歳と続いていた。

表Ⅲ-4-11 通所系サービス利用回数の総利用回数（要介護度別）

回数	通所系サービス		
	通所介護	通所リハビリテーション	合計
要支援	83256	32103	115359
要介護1	288394	175043	463437
要介護2	344019	226073	570092
要介護3	218481	167372	385853
要介護4	136644	82071	218715
要介護5	78444	36555	114999
合計	1149238	719217	1868455

表Ⅲ-4-12 通所系サービス利用回数の総利用回数（性別）

回数	通所系サービス		
	通所介護	通所リハビリテーション	合計
男	328816	221950	550766
女	820422	497267	1317689
合計	1149238	719217	1868455

表Ⅲ-4-13 通所系サービス利用回数の総利用回数（年齢階層別）

回数	通所系サービス		
	通所介護	通所リハビリテーション	合計
65歳未満	32456	25530	57986
65歳以上75歳未満	168168	127351	295519
75歳以上85歳未満	534975	338374	873349
85歳以上95歳未満	388797	214064	602861
95歳以上	24842	13898	38740
合計	1149238	719217	1868455

(8) 短期入所系サービス利用回数に関して

短期入所系サービス利用回数の総利用回数は、111,735 回であった。それらを要介護度別、性別、年齢階層別に集計した結果は、以下の通りである。

要介護度別には、要介護 3 が最も高く、次いで要介護 5、要介護 4 の順となっている。性別では、女性が男性の約 2.6 倍にのぼっている。年齢階層では、75・85 歳が最も多く、次いで 85 歳から 95 歳と続いていた。

表Ⅲ-4-14 短期入所系サービス利用回数の総利用回数（要介護度別）

回数	短期入所系サービス			合計
	短期入所生活介護	短期入所療養介護 介護老人保健施設	短期入所療養介護 介護療養型医療施設	
要支援	447	235	9	691
要介護1	7364	2980	507	10851
要介護2	13411	5855	1060	20326
要介護3	18666	8911	1614	29191
要介護4	15967	7596	1128	24691
要介護5	16456	6790	2739	25985
合計	72311	32367	7057	111735

表Ⅲ-4-15 短期入所系サービス利用回数の総利用回数（性別）

回数	短期入所系サービス			合計
	短期入所生活介護	短期入所療養介護 介護老人保健施設	短期入所療養介護 介護療養型医療施設	
男	19149	9906	2017	31072
女	53162	22461	5040	80663
合計	72311	32367	7057	111735

表Ⅲ-4-16 短期入所系サービス利用回数の総利用回数（年齢階層別）

回数	短期入所系サービス			合計
	短期入所生活介護	短期入所療養介護 介護老人保健施設	短期入所療養介護 介護療養型医療施設	
65歳未満	1426	748	130	2304
65歳以上75歳未満	7687	4214	893	12794
75歳以上85歳未満	29189	13308	2109	44606
85歳以上95歳未満	29897	12675	3621	46193
95歳以上	4112	1422	304	5838
合計	72311	32367	7057	111735

(9) その他のサービス利用回数の総利用回数

その他のサービス利用回数の総利用回数は、324,363 回であった。それらを要介護度別、性別、年齢階層別に集計した結果は、以下の通りである。

要介護度別には、要介護 2 が最も高く、次いで要介護 3 の順となっていた。性別では、女性が男性の約 2 倍であった。年齢階層では、75-85 歳が最も多く、次いで 85 歳から 95 歳と続いていた。

表Ⅲ-4-17 その他のサービス利用回数の総利用回数（要介護度別）

回数	その他のサービス			合計
	居宅療養 管理指導	痴呆対応 型共同生 活介助	福祉用具 借与	
要支援	1416	0	13432	14848
要介護1	5639	7419	49018	62076
要介護2	7472	16660	75717	99849
要介護3	4926	7712	53002	65640
要介護4	5491	955	31800	38246
要介護5	8338	22	35344	43704
合計	33282	32768	258313	324363

表Ⅲ-4-18 その他のサービス利用回数の総利用回数（性別）

回数	その他のサービス			合計
	居宅療養 管理指導	痴呆対応 型共同生 活介助	福祉用具 借与	
男	12325	5086	93014	110425
女	20957	27682	165299	213938
合計	33282	32768	258313	324363

表Ⅲ-4-19 その他のサービス利用回数の総利用回数（年齢階層別）

回数	その他のサービス			合計
	居宅療養 管理指導	痴呆対応 型共同生 活介助	福祉用具 借与	
65歳未満	1897	790	15984	18671
65歳以上75歳未満	6092	2593	59258	67943
75歳以上85歳未満	14052	19226	107261	140539
85歳以上95歳未満	9893	10079	69165	89137
95歳以上	1348	80	6645	8073
合計	33282	32768	258313	324363

(10) 施設サービス利用回数の総利用回数

施設サービス利用回数の総利用回数は、1,352,851回であった。それらを要介護度別、性別、年齢階層別に集計した結果は、以下の通りである。

要介護度別には、要介護4が最も高く、次いで要介護2の順であるが、要介護5の回数も同じ程度となっていた。性別では、女性が男性の約3.5倍にのぼっている。年齢階層では、75-85歳が最も多く、次いで85歳から95歳と続いていた。

表Ⅲ-4-20 施設サービス利用回数の総利用回数（要介護度別）

回数	施設サービス			合計
	介護老人福祉施設	介護老人保険施設	介護療養型医療施設	
要支援	6029	0	0	6029
要介護1	85184	42123	14137	141444
要介護2	142003	119014	32005	293022
要介護3	153558	108333	29390	291281
要介護4	162761	95543	79568	337872
要介護5	152248	37517	93408	283173
合計	701813	402530	248508	1352851

表Ⅲ-4-21 施設サービス利用回数の総利用回数（性別）

回数	施設サービス			合計
	介護老人福祉施設	介護老人保険施設	介護療養型医療施設	
男	133778	99632	68951	302361
女	568035	302898	179557	1050490
合計	701813	402530	248508	1352851

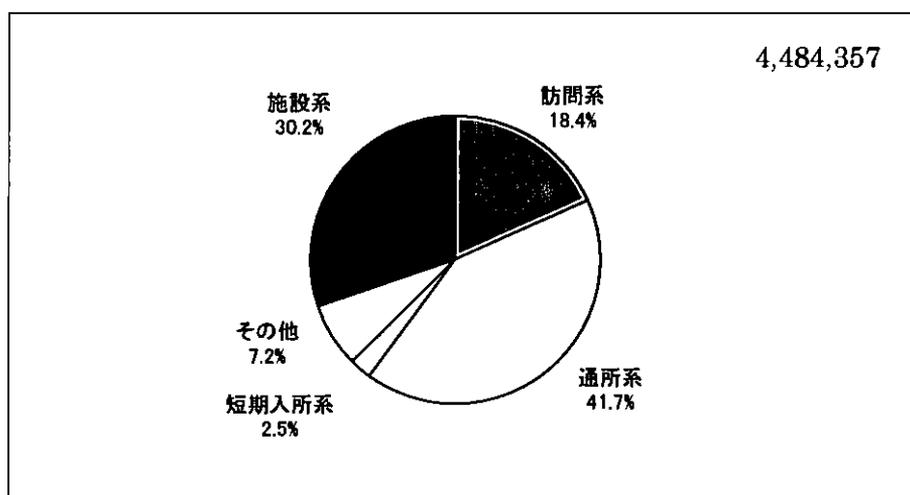
表Ⅲ-4-22 施設サービス利用回数の総利用回数（年齢階層別）

回数	施設サービス			合計
	介護老人福祉施設	介護老人保険施設	介護療養型医療施設	
65歳未満	9396	4836	5333	19565
65歳以上75歳未満	78682	43732	34262	156676
75歳以上85歳未満	306106	180125	111361	597592
85歳以上95歳未満	259630	157090	82522	499242
95歳以上	47999	16747	15030	79776
合計	701813	402530	248508	1352851

(11) 各種サービスの総利用回数の比較

各種サービスの総利用回数の比較について見てみると、利用回数の中で最も多い割合を占めているのが、「通所系のサービス」で1,868,455回(41.7%)であった。次に、「施設系のサービス」で1,352,851回(30.2%)、「訪問系のサービス」826,953回(18.4%)と続くが、通所系のサービスは訪問系のサービスのほぼ2倍の割合を占めていた。

「その他のサービス」324,363回(7.2%)、「短期入所系のサービス」111,735回(2.5%)であった。



図Ⅲ-4-1 各種サービスの総利用回数の比較

## 5.介護サービス利用料に関して

平成12年4月から平成15年3月までの36か月分の要介護認定基本調査項目の調査結果から、各サービス別に要介護度別、性別、年齢階層別にサービスの利用料について、集計を行った。

※なお、要介護別、利用料の最大値、最小値、平均、中央値、第一四分位点：データを小さい順に整序して先頭から1/4の順位のデータの値、第三四分位点：データを小さい順に整序して先頭から3/4の順位のデータの値は資料編に入れた。

以下にその概要を示した。なお、特定施設、入所者生活介護、特定福祉用具購入、住宅改修サービスについては、データに含まれていなかった。

### (1) 訪問系サービス利用料の総利用料

訪問系サービス利用料の総利用料は、3,725,929,620円※であった。それらを要介護度別、性別、年齢階層別に集計した結果を以下に示した。

要介護度別には、要介護5が最も高く、次いで要介護1の順となっている。性別では、女性が男性の約2倍だった。年齢階層では、75-85歳が最も多く、次いで85歳から95歳と続く、75-95歳の年齢層で全体の69.4%を占めていた。※1ポイント=10円として換算

表Ⅲ-5-1 訪問系サービス利用料の総利用料（要介護度別）

ポイント	訪問系サービス				合計
	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	
要支援	20166769	27500	843913	2750	21040932
要介護1	65787888	619250	7000631	134200	73541969
要介護2	59578505	2806689	10825024	202400	73412618
要介護3	45144363	6007336	10756956	130350	62039005
要介護4	36353657	9602127	13152712	112200	59220696
要介護5	39668654	19470754	23955584	243650	83338642
合計	266699836	38533656	66533920	825550	372592962

表Ⅲ-5-2 訪問系サービス利用料の総利用料（性別）

ポイント	訪問系サービス				合計
	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	
男	82482780	14774011	26519873	640200	124416864
女	184217056	23759645	40014047	185350	248176098
合計	266699836	38533656	66533920	825550	372592962

表Ⅲ-5-3 訪問系サービス利用料の総利用料（年齢階層別）

ポイント	訪問系サービス				合計
	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	
65歳未満	16638196	2453253	3939800	139700	23170949
65歳以上75歳未満	53854626	7110567	14215993	388300	75569486
75歳以上85歳未満	114530751	11671692	24568575	253000	151024018
85歳以上95歳未満	74922545	13715704	20703015	44550	109385814
95歳以上	6753718	3582440	3106537	0	13442695
合計	266699836	38533656	66533920	825550	372592962